2026年度　お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

ジェンダー社会科学専攻

一般入試・社会人特別入試・外国人留学生入試
専　門　試　験

試　験　日　：　2026 年　2月　2日（月）
試 験 時 間　：　9時30分　～　11時30分

【注意事項】

1. 問1、問2、問3のうち、2問を選んで解答しなさい。

2. 設問ごとにそれぞれ別の答案用紙に解答を記入すること。

3. 日本語で解答すること。

問1

トマ・ピケティ著『21世紀の資本』の図9-2（328頁）と図9-3（330頁）を参考にし、以下の（1）～（3）の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

出典：トマ・ピケティ、山形浩生・守岡桜・森本正史訳、2014年、『21世紀の資本』みすず書房、328頁、330頁。

（1）　図 9-2 と図 9-3 は具体的に何を示しているか、説明しなさい。

（2）　1980 年代以降、図 9-3 の国々よりも図 9-2 の国々で、トップ百分位（トップ 1%）が総所得に占めるシェアが急速に拡大した主な要因について論じなさい。また、両図の国々においてトップ百分位が総所得に占めるシェアの拡大をもたらした共通の要因について述べなさい。

（3）　所得格差の拡大に対してどのような有効な施策があり得るか、政策的論拠を示しながら論じなさい。

問2

次の文章は、ナチ党（国民社会主義ドイツ労働者党）の思想をめぐる書籍の一節である。これを読んで、（1）と（2）の問いに答えなさい。

第一次世界大戦が始まった当初、ドイツで多くの人びとが口にしたのが「城内平和」という言葉だった。それまでのドイツは政治的、社会的、宗派的に争いが絶えなかった。しかしいまや戦争なのだから、ドイツ人同士で内輪もめしている場合ではなく、挙国一致で敵に当たらなければならない。それが、この言葉に込められた意味だった。

（中略）そうしたなかで、「民族共同体」という言葉をスローガンにして巧みにドイツ人の支持を獲得していったのが、ナチ党だった。第一次世界大戦が始まったときの「城内平和」のように、ドイツ人全員が一致団結した状態を取り戻そうというのが、ナチ党の振りまいた「夢」であった。「政治的、社会的、宗派的な対立のない、議会も政党もない、調和的な国民国家というビジョン」こそ、「民族共同体」の骨子であった。右のポスターでも、勤勉に働くドイツ人はみな「民族同胞」であって、生まれや育ちに関わりなく、誰もが等しく国家による支援と保護を受け、幸福な生活を営むことができるという「夢」が喧伝されている（図1）。

図1　ナチ党のポスター「ナチ党は民族共同体を保証する」

（中略）こうしてナチ体制においては、「アーリア人で健康な、業績能力のあるドイツ人の「民族同胞」であれば、階級や教養、宗教、出身地域に関係なく「対等」な人間と見なされ、ナチ国家によって社会政策による支援を受け」る一方、「民族的、社会的、生物学的、そしてとりわけ人種的に排除された人びとは「民族同胞」と対等の立場ではなく、法を奪われ、厚生・治安当局から排除され、追放され、もしくは生殖を阻まれた」のである。

こうした包摂と排除のダイナミクスこそが、ナチ体制の本質であった。大規模な軍備拡張は多くの人びとに再び職をもたらしたが、それは来るべき戦争の準備にほかならなかった。ヒトラーが「民族共同体」の構築をめざしたのは、ドイツ人を団結させることで、最終的に革命によって内部から崩壊した第一次世界大戦の「失敗」を次の戦争で二度と繰り返さないためであった。

出典：小野寺拓也・田野大輔、2023 年、『検証　ナチスは「良いこと」もしたのか？』岩波書店、14-15 頁より抜粋、一部改変。

（1）　本文中の「民族共同体」は、どのような点で問題を孕んでいるのかを、現代の国内外における事例を挙げながら論じなさい。

（2）　現代における国内外の具体的な地域を挙げながら、本文中で述べられているような「民族共同体」の考え方が空間・地域面でどのように発現されるのかについて論じなさい。

問３

近年、多様性のある議会をめざして、女性や性的マイノリティ、民族的マイノリティなど、従来過少代表だった人々の政治参加を拡大しようとする動きがある。女性やマイノリティといっても、階級、民族、セクシュアリティ、障害の有無など、多様な属性が交差している。このため、「女性代表」や「マイノリティ代表」というカテゴリー自体が、ある人々を不可視化してしまう危険性を孕んでいる。インターセクショナリティ（交差性）の視点から、民主主義における代表制について、（１）～（３）の問いに答えなさい。

（１）　「女性は女性に代表されるべき」という単純な図式が抱える問題点について論じなさい。

（２）　それでもなお、ジェンダーやマイノリティ属性を共有する代表が必要とされる場面はどのような状況なのか論じなさい。

（３）　インターセクショナルな不平等を可視化し、是正するためにどのような代表の仕組み・実践が考えられるか述べなさい。